



令和2年6月26日(金)
練馬区立開進第四小学校
校長 河崎 晃二

開四小だより

7月号

学校は子供の笑顔が一番

副校長 佐藤 和枝

学校に子供たちの姿が戻り、1か月がたとうとしています。保護者の皆様には、マスク・検温・水筒等新型コロナウイルス感染予防に関して日々御協力をいただき、感謝申し上げます。

分散登校の頃は、久しぶりの登校や新しい生活様式についての戸惑いや不安の表情が子供たちに見え隠れしていましたが、一斉登校が始まってからは、学校生活にも少しずつ慣れ、学級の友達が全員揃ったことで笑顔も見え、楽しそうな声が聞こえてくるようになりました。

新しい生活様式は不便なこともありますが、教職員や子供たちは、楽しい学校生活にしようと様々な工夫をしています。例えば、体育の授業の「ソーシャルディスタンス鬼ごっこ」です。普通の鬼ごっこのルールでは友達にタッチをするのでできませんが、この鬼ごっこは、体育着のズボンにしっぽのような2mのテープを挟み、鬼は追いかけてそれを取ります。音楽の授業では、歌やリコーダーができないのですが、「ミッキーマウス・マーチ」のドラムのリズム打ち練習をしています。太鼓打ちのゲームのように、音楽に合わせて右から左へと流れるリズム譜の映像を見ながら、足と膝と手を使ってリズムを刻みます。給食の時間は、前を向いてしゃべらずに食べますが、これを「高級（フレンチ）レストランごっこ」と呼んで、音楽を聞きながら食べている学級もあります。毎年子供たちが楽しみにしている「開四小まつり」は、三密になってしまうので今までのようにはできませんが、三密にならずに楽しめる新しいイベントとして「開四ギネス」を計画しています。現在子供たちから挑戦する内容のアイデアを募集しています。

授業時数を確保して効果的に学習を行うとともに、工夫をしながら子供たちの笑顔がたくさん見られる学校生活をつくっていきたいと思います。引き続き感染防止の取組について御協力いただきますようお願い申し上げます。

<桜伐採のお知らせ>

空洞率が50%以上で台風等により倒れる危険がある3本の桜を伐採することになりました。6月27日(土)には、正門付近のひょうたん池脇にある大きな桜を伐採します。学校のシンボルツリーとして長年親しまれてきた桜を伐採することは誠に残念ですが、その後には新たにソメイヨシノの苗木を植えることになっています。今後また開四小の子供たちと共に成長していく桜を見守っていただけたらと思います。当日は正門の利用ができなくなります。御協力をお願いいたします。